

生活保護世帯が急増

昨年10月コロナ失業急増が背景

昨年10月に生活保護を利用した世帯（保護停止中を除く）は162万9239世帯で、前月比1224世帯増と急増したことが6日、厚生労働省の調査でわかりました。増加

は2カ月連続です。

世帯類型別にみると、失業者を含む「その他の世帯」が24万5175世帯で、前月比527世帯増、前年同月比2373世帯増とめだって増えまし

た。

「その他の世帯」は昨年3月の24万1161世帯以降増え続け、10月までの7カ月間で4014世帯も多くなりました。

急増の背景には、新型コロナウイルス感染拡大を理由とした解雇・雇い止めの急増と、失業状態の長期化による生活の悪化があります。

このほか、「母子世帯」（7万5733世帯）、「障害者世帯」（20万6244世帯）、「傷病者世帯」（19万9188世帯）も前月より増えました。一方、全利用世帯の半数以上を占める「高齢者世帯」は90万2899世帯で、前月より113世帯減りましたが、前年同月比では5635世帯増えました。